

令和元年度 “「長久手市役所の仕事」通知表” の作成（外部評価）④

令和元年 7 月 31 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価④ 「市民まつり事業」【たつせがある課】
開催日時	令和元年 7 月 31 日（水） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p><外部評価実施者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 杉山知子、島田智子、山口秋男 ・外部評価委員 安藤美智子、山瀬のぞみ <p><担当課></p> <p>くらし文化部次長 日比野裕行、たつせがある課長 磯村和慶、同課課長補佐 熊谷美恵</p> <p><事務局></p> <p>総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	4 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・運営部分を実行委員会に託すことはよいことと思う。 ・集客数だけでなく、出店者を含めた参加者の満足度も重要と思う。 ・成果指標として、来場者数以外の指標が考えられるとよい。具体的な数値が出るものを工夫してほしい。 ・実行委員会形式にしてから少し経過していることから、ノウハウの蓄積があるため、マニュアル化できるものはして、省エネを図るとよいと思う。新しい企画等を進めることに労力を掛けるようにできるとよいと思う。 ・農業展等との連携をしていることから、他の新しい事業、行事等との連携を模索するとよいと思う。 ・長久手市近辺では大学が多くあるため、大学生が参加できるようになるとよいと思う。既存の活動している大学生のグループの参加を促すとよいと思う。大学生が参加することにより、活性化につながると思う。
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の委員の固定化には、継続性のメリットと新しい人が入りにくくなるデメリットがある。 ・市民まつりの規模からして、実行委員は20人くらいが妥当と感じる。 ・例えば、地域ごとに順番で実行委員会に参加するような仕組みも考えられる。 ・よりSNSの活用を図ってほしい。その中で、「手作り感」を出せるとよい。
--	---

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標について、実行委員会形式での事業を実施していること、実行委員会の機能強化を図っていく考えがあることから、来場者数以外に実行委員会に係る指標を検討されたい。 ・広く市民に開かれた事業として、様々な参加者を取り込み、かつ市民が主体となり継続的に実施されるとよい。
---------------	---